



サンプル

委託：独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業「令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」

演奏年鑑 2026

音楽資料

委託：独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業

「令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」

サンプル



演奏年鑑

——音楽資料——

2026

～通巻第52号～

公益社団法人日本演奏連盟

サンプル

1 口絵（アート）2025年のステージから

2 音楽界展望

統括的展望	寺西 基之	4
オーケストラ	岩野 裕一	4
ピアノ	真嶋 雄大	7
器楽、室内楽	渡辺 和	8
オペラ	関根 礼子	9
声 楽	國土 潤一	10
合 唱	戸ノ下 達也	11
吹奏楽	中橋 愛生	12
作 曲	石塚 潤一	13
評 論	宮沢 昭男	14
音楽映像メディア（CD&DVD）	山崎 浩太郎	15

各地の音楽活動

北海道	八木 幸三	16
東北	正木 裕美	17
北陸	山田 正幸	18
中部	伊藤 美由紀	19
関西	門田 展弥	20
中国	徳永 崇	21
四国	岸 啓子	22
九州	高坂 葉月	23
沖縄	上地 隆裕	24

コンクール

東京国際指揮者コンクール2024	八木 幸三	25
第12回浜松国際ピアノコンクール	岩野 裕一	26

3

演奏会記録

サンプル

北海道	109	和歌山県	169
青森県	115	大阪府	170
岩手県	116	兵庫県	186
宮城県	117	岡山県	195
秋田県	121	広島県	197
山形県	123	鳥取県	201
福島県	125	島根県	202
山梨県	127	山口県	203
長野県	128	香川県	204
静岡県	132	徳島県	206
愛知県	136	愛媛県	206
岐阜県	148	高知県	207
新潟県	150	福岡県	208
富山県	152	佐賀県	212
石川県	153	長崎県	213
福井県	156	熊本県	214
三重県	158	大分県	215
滋賀県	159	宮崎県	216
京都府	162	鹿児島県	217
奈良県	167	沖縄県	218
演奏会公演統計表	221		
演奏種類別・都道府県別公演回数一覧	222		
主な演奏団体の公演統計	223		
オーケストラ、吹奏楽、室内楽、オペラ、合唱			
邦人演奏家と来日演奏家の公演回数推移（1994年～2024年）	229		
海外で活躍する日本人数一覧・海外との共同作品制作数	230		

4

全国都道府県別会館・ホール便覧	231
-----------------	-----

5

日本演奏連盟の活動

日本演奏連盟主催・演奏会記録	458
実演家の著作隣接権	462
公益社団法人日本演奏連盟の活動	464
公益社団法人日本演奏連盟 役員	465
公益社団法人日本演奏連盟 賛助会員ご芳名	466

6

広告索引	467
------	-----

ピアノ 真嶋 雄大

サン

2024年の鍵盤界でもっともショッキングだったニュースは、マウリツィオ・ポーリーニの訃報である。6歳でJ.S.バッハ「平均律クラヴィーア曲集」を、11歳でベートーヴェン「ハンマークラヴィーア」を弾いた大天才は、その玲瓏たる奏法で20～21世紀のピアノ界を牽引、世界のピアノニズムをも変革して君臨、数々の伝説を遺したが、3月24日、ミラノの自宅において82歳で旅立った。

さて鍵盤作品を書いた作曲家の主な2024年のメモリアルを振り返ると、生誕では200年がスメタナ、150年がシェーンベルクとアイヴズ、100年が團伊玖磨、没後では150年がブルグミュラー、100年がフォーレとプゾーニ、50年がミヨーとジョリヴェンなどであり、各々に演奏会が開催されCDがリリースされたりもした。

リュカ・ドゥパルグはフォーレ「ピアノ独奏曲全集4CD」をリリース、6月には小菅優がシェーンベルク「月に憑かれたピエロ」をプロデュースして演奏、9月北村朋幹はフォーレ「ピアノ五重奏曲」、94歳の井上二葉は11月にフルートの工藤重典と東京、広島で全曲フォーレで聴衆を沸かせた。

2020年から世界を混乱に陥れたコロナウイルス（COVID-19）も5類感染症となって危険性は薄らいだものの終息したわけではない。けれどもそれを受けて演奏会の数は飛躍的に増加し、それまで中止を余儀なくされていた音楽祭も復活の狼煙を上げた。ラ・フォル・ジュルネや宮崎国際音楽祭、ローマ ミュージック フェスティバルなどであり、東京・春・音楽祭ではブッフビンダーがベートーヴェンのピアノ・ソナタを全曲演奏、別府アルゲリッチ音楽祭の東京公演ではアルゲリッチとクレメールがヴァインベルクで共演、ARKクラシックスと富士山河口湖ピアノ・フェスティバルでは清水和音と辻井伸行等がその華を競い、北九州国際音楽祭ではキーンが、ショパン・フェスティバルではエヴァ・ポブウヅカ、岡田博美、實川風らが各々音楽的感興を織り上げた。

11月にはパスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子が音楽監督を務めるNAGAREYAMA国際室内楽音楽祭が創設され、東京文化会館音楽監督の野平一郎による「フェスティヴァル・ランタンボレル」が開催、現代と古典を組み合わせるコンセプトで、ベートーヴェンとマヌリ、シューベルトとラッペンマンを採り上げ、阪田知樹、務川慧悟などが参加して盛り上げた。

また外国人ピアニストも来日が大幅に増加し、主だったところだと、1月イーヴォ・ポゴレリチ、エリーザベト王妃国際優勝のジョナタン・フルネル、2月クライバーン国際優勝のイム・ユンチャン、3月エル＝パシヤ、4月ビョートル・アンデルシェフスキ、6月ダン・タイ・ソン、6月チョ・ソンジン、エリソ・ヴィルサラーゼ、7月スティーヴン・ハフ、フランチェスコ・トリスターノ、8月アンティ・シーララ、9月ポール・ルイス、9月マルク＝アンドレ・アムラン、10月ビエール・ロラン＝エマール、11月アレクサンドル・カントロフなどが重厚な演奏を聴かせた。またチョ・ソンジンはラトル指揮バイエルン放送響のソリストとして11月に来日、見事ブラームスで聴衆を魅了した。

近年若手の活躍が目覚ましい日本人ピアニストたちも、幅広い年代で濃厚な演奏活動を繰り広げている。2月には東京芸術劇場リサイタル・シリーズ「VS」で亀井聖矢とクライバーン国際優勝のイム・ユンチャンが共演、反田恭平率いるジャパン・ナショナル管は池田晋一郎に委嘱した新作「ピアノ協奏曲Ⅳ（草が語ったこと）」を3月に初演、3月には上原彩子がベートーヴェン「ピアノ・ソナタ全曲演奏会」を

スタート、4月掛谷勇三ラフマニノフピアノ独奏作品全曲演奏会の第4回、5月野島稔メモリアル・コンサートが所縁の横須賀で、横山幸雄が20年ぶりであり、ベートーヴェン協奏曲ツイクルス、有森博が「ロシアの王后箱シリーズ」114を、鈴木優人がフランクフルトでチェンバロ・コンサートを、北川曉子がデビュー60周年リサイタルでブラームス等を演奏、6月には近藤嘉宏が配信限定でのアルバムをリリース、82歳の田崎悦子はデビュー「前奏曲集」でリサイタルを、また佐々木崇が6年12回をかけたシューマン、主要ピアノ独奏曲、室内楽全曲演奏会の最終回で有終の美を飾った。9月には久本祐子がベートーヴェンソナタ全曲シリーズVol.2を、河村尚子がデビュー20周年リサイタルを、また故園田高弘の没後20年を記念し、島田彩乃、松本和将、岡田将、高橋望、平井千絵、川井綾子、ドゥオールら弟子たちによるコンサートや、園田自身のJ.S.バッハ、ベートーヴェン等のCDボックスセットのリリース、また米寿の館野泉がなんとブータン、ネパールで初のリサイタルを敢行、11月には樋口紀美子が渡欧50周年記念としてオール・ショパンでのリサイタルとCDリリース、福岡洗太朗も日本デビュー20周年でリサイタルとCDをリリースした。

また若手ピアノ・トリオの活動も輝かしい。第67回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ三重奏部門で日本人団体として初の優勝を受賞した葵トリオを始めとして、石田泰尚、西谷牧人、佐藤卓史によるTrio Japan、ベルリンで出会った金川真弓、佐藤晴真、久末航トリオ、そして谷川かつら、瀬川祥子、水谷川優子によるTRIO Sol Laらはそれぞれに顕著で積極的な演奏活動を展開していて存在感を増している。

古楽系では、4月ブルージュ国際古楽コンクール優勝者マチエイ・スクシェチュコフスキが全国ツアー、小倉貴久子が川口成彦と2台協奏曲で師弟共演、3月にはショパン国際ピリオド楽器コンクール優勝のトマシュ・リッテルと第2位川口成彦、ショパンコンクール覇者のアヴデーエワがショパンのピアノとオケのための全6作品を18世紀オケと共演。

さて2024年に開催されたコンクールを振り返ると、リーズ国際ピアノコンクールではカナダのジェイデン・アイジク＝ズルコが優勝、日本勢はファイナルには進めなかったが牛田智大が健闘、11月には第12回浜松国際ピアノコンクールが開催され、鈴木愛美が日本人初、女性としても初の優勝を飾り、小林海都も第3位に入賞。ブルージュ国際古楽コンクールでは、前述のトマシュ・リッテルが栄冠を獲得、ピリオド楽器界に大きな存在感を示した。

日本の賞関係だと第33回出光音楽賞に務川慧悟、第50回日本ショパン協会賞に亀井聖矢、ショパン協会会長の海老彰子が令和6年度文化庁長官表彰を受けた。

さて2024年もピアニストの訃報が相次いだ。冒頭のポーリーニをはじめ、江戸京子が1月23日86歳で、ショパン弾きとして著名なユージン・インジックが2月28日76歳で、パイロン・ジャニスが3月14日に95歳で、フジコ・ヘミングが4月21日に92歳で、まだ若い佐藤祐介が4月19日に35歳で、ヤヌシュ・オレイニチャクが10月20日に72歳で、そしてアルトゥール・モレイラ・リマが10月30日で84歳で他界、それぞれに功績があったピアニストだけに冥福を祈る。

2025年の鍵盤界がなお一層飛躍することを切に願う。

真嶋雄大（まじま・ゆうだい）

音楽評論家、作曲家。朝日新聞、「音楽の友」等媒体を始め、演奏会やCDの曲目解説、音楽劇の台本等の執筆、NHK-FM等への出演を続け、全国でレクチャー・コンサートやプロデュースを展開、とりわけ甲府での「特別コンサート」、岡谷での「クラシック探訪」、ベゼンドルファー「美女と野獣」等は大好評、その模様が「日経ビジュアル音楽堂」で紹介された。著書に「ピアニストの系譜」、「グールドと32人のピアニスト」等。YCC文化ホール等アドバイザー、「真嶋雄大の面白クラシック」主宰。

器楽（室内楽を含む）

渡辺 和

サンプル

2020年春前に始まり足かけ3年程も続いたコロナ禍の非常事態を脱し、日本の音楽界はある程度の落ち着きを取り戻したかにも見える2024年。とはいえ、コロナ禍後の世界規模での政治経済情報システムの急激な流動化は、個人小規模ヴェンチャー・ビジネスたる器楽室内楽界に否応なく変化を齎している。

◆石田泰尚という新時代のカリスマ

2024年室内楽界最大の驚きは、石田泰尚の人気沸騰であろう。アークが強い風貌とステージマナーながらボウイングの巧みさを高く評価される室内楽専門家、というイメージだったこの中堅ヴァイオリニストは、3年ぶりに『音楽の友』誌が開催した「あなたが選ぶクラシック・ベストテン2024」各部門で圧倒的な支持を得る。月刊音楽誌を購入する愛好家層に最もアピールし、コンサートマスターに座る神奈川フィル、石田が率いる弦楽アンサンブル「石田組」、YAMATO弦楽四重奏団らまでが各ジャンルで上位を独占した「石田現象」は、評論家や音楽関係者の想像を絶する事態だった。

石田の活動で評価すべきは、室内アンサンブルの伝統的フォーマットを用いつつ、新たな客層の開拓を成し得た点にある。カリスマティックなコワモテ風リーダーが、クイーンやローリング・ストーンズ、モリコーネなどロックや映画音楽から、グリーグ、バルトーク、シベリウス、ホルストなど近現代のモダン楽器弦楽合奏レパートリーを高い水準で披露する舞台は、旧来の音楽ファンばかりか「クラシックは真面目で堅苦しい」と感じていた層にも大いにアピールする。

アンサンブルとしての「石田組」のライヴ活動は、基本的にはライヴハウスでのインディーズ型自主公演の延長にある。敢えて旧来の大手クラシック音楽事務所は介さず、アリーナ型公演の実績に富むポピュラー系事務所に大規模公演やツアー差配を委託。「石田組」10周年記念ツアーも、11月10日の日本武道館公演を頂点に、各地の公共ホール自主公演や旧労音型鑑賞団体、更には12月22日の福岡県築上町文化会館コマーレでの地元ボランティア実行委員会など、様々な規模と性格の主催団体を広く網羅。旧来の室内楽団体が出来なかった広がりを見せている。その活動が弦楽合奏団の未来を開くのか、今後も注視が必要だろう。

◆若手の活発な活動と外国人演奏家の新たな動向

石田に続けとばかりにコロナ禍以降の器楽室内楽界で大活躍なのは、若手男子ピアニスト達である。ドイツグラモフォンとの国際専属契約を結んだ辻井伸行や、ヴェルビエ音楽祭やBBCプロムスに参加した藤田真央を筆頭に、指揮者や室内管監督としての活動も含め多面的な才能を伸ばしている反田恭平らは、今や日本を代表するトップアーティストとなりつつある。

コロナ禍でのSNS展開から旧来型メディアを経由せずに人気を博すようになった角野卑斗、インターネットでのコンクール中継で注目を浴び固定ファンを作り上げた務川慧悟、阪田知樹、亀井聖矢ら、20代から30代前半の若手男性ピアニストの集客力は圧倒的で、中小規模ホールでのリサイタルは発売と同時にチケットは完売。地方公演にも所謂追っかけファンが押し寄せる。一部に顔を顰めるオールドファンもあろうこのような現象が、2010年代半ば以降の器楽室内楽会場の小規模サロン化とクラシック若手演奏家の「会に行けるアイドル」化現象が、SNSを用いた情報発信側にファンを取り込む「推し活」へと進化した結果であることを認めないわけにはいくまい。

とはいえ、こんな現実がシリアス・ミュージックのポピュラー化に

向かうばかりとは限らないのは興味深い。演奏家の魅力に惹かれコンサート会場にきた新しいファンは、20世紀後半やそれ以降に開拓されたリサイタルへの抵抗が極めて少ないのである。12月12日に藤田真央がサントリー大ホールで開催したソロリサイタルでは、ショパンの同名作品と共に現代秘曲《24の前奏曲》全曲が披露され、喝采を博した。今や若手室内アンサンブルトップとなった葵トリオも、シュニトケ、細川俊夫、藤倉大、ヴァインベルグらの演目を並べ、チケットは発売直後に完売している（12月17日東京オペラシティ、21日ザ・フェニックスホール）。東京文化会館館長となった野平一郎がプロデュースした新しい音楽祭「フェスティヴァル・ランタンボレル」では、務川慧悟がモダンと時代ピアノを用いラッペンマンとシュベルトを弾き分けるリサイタルが満員となる（11月30日東京文化会館小ホール）。こんな現象をどのように利用するか、主催者や現代音楽界の力量が問われる。

若手世代の目覚ましい活躍に比べると、中堅世代の活動の難しさは構造的なのかも。室内楽界でも、前述の葵トリオを筆頭に、5月にベルリンのビエール・ブーレーズ・ザール演奏会に招聘されたカルテット・アマビレ、メンバー交代を経て北米拠点の活動に本腰を入れ始めたカルテット・インテグラ、大阪国際室内楽コンクール第2位以降国内拠点の俊英として期待を集めるほのカルテット、大阪大会特別賞でボルドー国際弦楽四重奏音楽祭に派遣されたタレリアQ、等々、若手弦楽四重奏団の活発な活動が目を見え。中堅に差し掛かりつつあるウェールズQがサントリー・チューンパーミュージック・ガーデン恒例のベートーヴェン弦楽四重奏全曲演奏に抜擢され、際立って個性的な解釈を貫きコアな室内楽愛好家の間で賛否両論となったのは、主催側の勇気も賞すべきか（6月8、9、11、12、13、15サントリーブルローズ）。

バブル期前の水準まで下落した日本円の価値を反映し、旧来型の著名外国奏者リサイタルや室内楽は存在感を弱めている。だが逆に円安や治安の良さ故に、日本に長期滞在し活動を行う著名外国人演奏家の事例もある。クラリネットのリチャード・ストルツマンが九州に長期滞在し日本公演を行い（9月24日浜離宮朝日ホール、10月6日竹田市総合文化ホール）、千葉の流山では定住したピアノのパスカル・ドゥヴァイヨン夫妻が監督となり近郊都市型ホールの指定管理者による音楽祭「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2024」（11月2～4日スターツおおたかの森ホール）を展開している。

勿論、20世紀型のスターシステムがなくなったわけではない。新人としては、欧州弦楽四重奏界の21世紀中葉を担うと評価が高いレオンコロQが満を持して日本に登場、実力の一端を示した。また、昨年の大阪国際室内楽コンクールが発掘したピアノ四重奏団カビバラP・Qが秋に日本ツアーを行い、未だ未開拓なこのジャンルに新しい風を吹き込む期待が高まっている。

渡辺 和（わたなべ・やわら）

宗教音楽、室内楽を中心に、演奏会プログラム執筆、音楽芸術エッセイ執筆、演奏家インタビュー、翻訳、通訳など、フリー音楽ジャーナリストとして活動。コンクール、音楽祭、シンポジウムなど、海外取材多数。国際基督教大学大学院比較文化研究修士課程修了（比較宗教表現論専攻）。1957年千葉県生。コロナ禍以降、東京と大分の二拠点生活中。主な著書：カルテットの名曲名演奏（音楽之友社）、ゆふいん音楽祭35年の夏（木星社）、クラシックホールをつくる、続ける（水曜社）

□ 岩手県

1月

- 13日 (北上市文化交流さくら小)
「奥村愛vn&岡本拓也g」
- 13日 (宮古市民文化)
「大阪交響楽団宮古公演」◎柴田真都 P岡田奏
- 13日 (釜石市民TETTO)
「名雪裕伸f&牧野時織f&岩岡一志P」
- 14日 (北上市文化交流センター)
「名雪裕伸f&牧野時織f&岩岡一志P」

2月

- 10日 (岩手県民)
「ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団」
◎アンドレイ・ボレイコ P小山実雅恵
- 11日 (一関文化中)
「曾部達平T&増田達斗P」
- 17日 (大船渡市民文化リ阿斯)
「国際音楽祭NIPPON2024 諏訪内晶子vn&フレンズ コンサート in 大船渡」vn諏訪内晶子, ペンジャミン・シュミット va鈴木康浩 vcイエンス・ペーター・マインツ clポール・メイエ P秋元孝介
- 23日 (盛岡市民文化)
「ヤーノシュカ・アンサンブル」vnオンドレイ・ヤーノシュカ, ローマン・ヤーノシュカ Pフランチシェク・ヤーノシュカ cbユリウス・ダルファス
- 24日 (盛岡市民文化小)
「アフタヌーンコンサート」T随岐速人 S随岐彩夏 org池田ゆかり

3月

- 9日 (盛岡市民文化小)
「洪澤久美orgリサイタル」vo西國亜紀子
- 10日 (大船渡市民文化リ阿斯)
「読売サロン・コンサート in 大船渡」
- 17日 (岩手県民中)
「いわてフィルと岩手出身の音楽家 コンチェルトコンサート」Br阿部泰洋 fg宮崎航大 ◎寺崎巖
- 23日 (一関文化中)
「音楽の絵本」ルスティカーナ」
- 23日 (岩手県民中)
「石井琢磨Pリサイタル」
- 23日 (盛岡市民文化)
「坂本龍一監督追悼 東北ユースオーケストラ演奏会2024」◎柳澤寿男 東北ユースオーケストラ 朗読:のん 司会:渡辺真理 ゲスト:P中野翔太 vn成田達輝
- 26日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ中)
「上野耕平saxリサイタル」P高橋優介
- 30日 (盛岡市民文化)
「第13回 JCAユースクワイア」◎マリア・ゴウンドリーナ JCA YOUTH CHOIR 賛助:岩手県民合唱連盟 中学校・高校合同合唱団
- 30日 (釜石市民 TETTO A)
「佐渡裕◎&スーパーキッズ・オーケストラ こころのビタミンプロジェクト in 釜石」
- 31日 (釜石市民 TETTO A)
「吉川拓郎Pリサイタル」

4月

- 12日 (盛岡市民文化小)
「OH! WONDERFUL! TOHOKU SAX ENSEMBLE」S.sax大和田雅洋 A.sax中野弥和 T.sax古館祥枝 Br.sax矢戸陽子 P蔡翰平
- 18日 (盛岡市民文化小)
「山口綾楓orgリサイタル」
- 24日 (盛岡市民文化)
「ヤマト・ストリング・カルテット」vn山田泰尚, 執行恒宏 va榎戸崇浩 vc阪田宏彰
- 26日 (盛岡市民文化小)
「藤井亜紀Pリサイタル」
- 28日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ)

「めざましクラシックス in きたかみ」高嶋ちさ子 軽部真一 ゲスト:大黒摩季

- 日 (盛岡市民文化小)
「こどものこまばいコンサート2024」P津真浩 合唱:北上ミュージック・クラス隊
- 12日 (一関文化)
「菅原浩史メモリアル THE LEGEND コンサート」THE LEGEND P西尾周祐
- 18日 (二戸市民文化)
「吉野直子hp&池松宏cb」
- 30日 (一関市盛沢文化縄文中)
「岩手県青少年劇場『オペラ』ってなあに?」S中須美喜 Br佐野正一 Ms成田伊美 T土崎譲 P高木由雅

6月

- 2日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ)
「北上フィルスパシャルコンサート」◎及川孝f岡本梨奈 司会:高森道子
- 2日 (陸前高田市民文化)
「第6回響け!希望のtp」音楽監督:◎杉木峯夫在原豊, 井上優佳, 関岡健太, 小田島史, 小林好夫, 佐々木駿, 中澤孝之ほか
- 8日 (岩手県民中)
「国際シロップチミスト盛岡 認証50周年記念チャリティーコンサート」THE LEGEND P西尾周祐
- 15日 (釜石市民TETTO A)
「小川有紀子vn&戸澤曉男f&高橋麻子P」
- 15日 (大船渡市民文化リ阿斯)
「リ阿斯ホール ファミリークラシックコンサート」
- 15日 (かるまい文化交流学漢米館)
「佐藤采香eu&清水初海P」
- 16日 (一関文化中)
「金今陽祐T&鈴木秀和T&曾部達平T」P高橋健介
- 23日 (釜石市民TETTO A)
「陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート in 釜石」◎澤野展之
- 23日 (田園/矢巾町文化)
「みどりのそよ風コンサート」P松岡淳 vc小島幸法 CHILDHOOD [ハンドf森光弘 P白田圭介]
- 29日 (盛岡市民文化小)
「ジョン・健・マツォトリサイタル」Br阿部泰洋 S池田英香 P小松桃
- 30日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ)
「バヴェル・ゴムツィアコフ vcリサイタル」P名須川明子
- 30日 (宮古市民文化)
「宮古市出身のプロの音楽家によるコンサート」vn伊藤泰子 ob大久保美美 tb花坂義孝 ジブシー-vn古館由佳子 per三上恭伸 tp牧原正洋

7月

- 3日 (盛岡市民文化)
「マリオ・コシック◎ハンガリー・ブダペスト交響楽団 亀井聖矢P」
- 12日 (盛岡市民文化小)
「三原麻里orgリサイタル」
- 13日 (釜石市民 TETTO B)
「小川有紀子vnリサイタル」P中居瑞葉
- 20日 (一関文化)
「オクサーナ・ステパニウックSリサイタル」P岩瀬慶子
- 21日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ)
「オクサーナ・ステパニウックSリサイタル」P岩瀬慶子
- 21日 (前沢ふれあい)
「ファミリーコンサート オーケストラで聴くジブリ音楽」出演:米良美一, 木村弓, 島本須美 N響団友ポップスオーケストラ
- 22日 (陸前高田市民文化)
「名古屋フィル 木管五重奏コンサート」f富久田治彦 ob竹生桃 clロバート・ボルショス fgゲオルギ・シャシコフ hr安土真弓

- 28日 (釜石市民 TETTO A)
「吉畑祥子Pリサイタル」
- 30日 (盛岡市民文化小)
「岡昭宏Br&村田恵理P」

8月

- 3日 (宮古市民文化)
「コンサートキャラバンPLUS!!」vn田口美里, 菅谷史 va齋藤彩 vc宮坂拓志
- 5日 (岩手県民)
「日本フィル 東北の夢プロジェクト2024~楽しいオーケストラ in 岩手」◎永峰大輔 P上原彩子 vo:お話:江原陽子
- 6日 (岩手県民中)
「千住真理子vnリサイタル」P山中博史
- 6日 (盛岡市民文化小)
「しずくいし夏の音楽祭 盛岡公演」S鈴木たえ P森知英 vn富沢由美, 渋谷帆乃花 va白木麻弥 vc西山健一
- 7日 (盛岡市民文化小)
「佐藤彦大P名曲コンサート」
- 10日 (ラ・ラ・ガーデン)
「第19回 しずくいし夏の音楽祭 2024」vn富沢由美, 岡田紗弓 va白木麻弥 vc西山健一 P森知英 S鈴木たえ
- 11日 (奥州市文化乙)
「福井敬トリサイタル」S福井由美香 P谷池重子
- 11日 (ラ・ラ・ガーデン)
「第19回 しずくいし夏の音楽祭 2024」vn富沢由美, 岡田紗弓 va白木麻弥 vc西山健一 P森知英, 林秀
- 15日 (岩手県民)
「blast プラスト!」blast プラスト!来日カンパニー 日本人キャスト:per石川直 tp米所裕夢, 渋谷春暖 ヴィジュアル・アンサンブル:丹澤里穂菜
- 17日 (一関文化中)
「Musica insieme P Duo concert」P福島みなみ, 道下真帆
- 18日 (北上市文化交流さくら中)
「吉澤実recコンサート」lte永田平八
- 24日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ小)
「河井勇人vnリサイタル」P森永冬香
- 29日 (岩手県民)
「反田恭平P・◎&ジャパン・ナショナル・オーケストラ」

9月

- 7日 (トーサイクラシック岩手(岩手県民)中)
「山口奏vcリサイタル」P長谷川恭一
- 10日 (盛岡市民文化)
「仙台フィル特別演奏会「名曲コレクション」 in 盛岡」◎小林研一郎
- 11日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ10:30 13:30)
「ズーラシアンプラス 音楽の絵本〜テンディズム」
- 11日 (釜石市民TETTO)
「TETTO LOBBY Concert obとPの調べ」ob池田肇 P佐々木洋子
- 15日 (久慈市文化アンバー)
「市民参加型オペラ モーツァルト『コジ・ファン・トゥッテ』(演奏会形式) 演出:太田麻衣子 ◎阪哲朗 山響 vo盛岡麻史, 郷家暁子, 鈴木准, 近藤圭, 鶴木結里, 萩原潤 市民合唱団 岩手県・八戸市の声楽家
- 16日 (北上市文化交流さくら小)
「黒澤里美Sコンサート」P天野正子
- 21日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ小)
「菊池菜P&田中くるみP」
- 23日 (一関文化中)
「金川真弓vnリサイタル」P久末航
- 23日 (矢巾町文化(田園))
「再3回能登半島地震チャリティーコンサート」vn山田玲菜 sax野澤晋之 tp平慶久 tu平野貴大 矢巾町立や幅中学校吹奏楽部
- 26日 (盛岡市民文化小)
「五十嵐紅リサイタル」
- 28日 (トーサイクラシック岩手(岩手県民)中)

□ 宮城県

サンプール

「フォーレと道造『ふたつの優しき歌』、朗読、fl. vc. Pによる『盛岡ノート』」S丸岡千奈美 Ms佐藤恵津子 vc三浦洋子 fl村野井友菜 長谷川恭一 朗読:江幡平三郎
29日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ小) 「野尻小矢佳per&新崎誠実P&牧野時織fl」

10月

2日 (岩手県民中) 「森麻季Sリサイタル」P山岸茂人
14日 (盛岡市民文化小) 「宮田大vc&ジュリアン・ジェルネP」
20日 (一関文化中) 「上野裕之BrコンサートVOL.6」S福留なぎさ T廣田亮 P水野彰子
26日 (トーサイクラシック岩手<岩手県民中>) 「デュオ to クインテット〜室内楽の夕べ〜」カルテットブランタン [vn米倉久美, 大森響生 va藤澤英子 vc三浦明子] P長谷川恭一
27日 (奥州市文化Z) 「石田組 (弦楽アンサンブル)」vn石田泰尚, 塩田脩, 山岸努, 大宮臨太郎, 丹羽洋輔, 伊東潮太 va中村洋乃理, 萩谷金太郎, 鈴木大樹 vc西谷牧人, 森山涼介, 広田勇樹 cl米長幸一
29日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ) 「ブラック・ダイク・バンド 2024」音楽監督・首席@ニコラス・チャイルズ 司会:朝岡聡

11月

2日 (盛岡市民文化小) 「椎名雄一郎orgリサイタル」
2日 (盛岡市民文化) 「ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2024」@リチャード・カーシー オーケストラ・ジャパン ヴォーカリスト ナビゲーター:ささきフランチェスコ
4日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ) 「北上フィル第29回定期」@田中一嘉 vn小川響子 ゲストコンサートマスター:山本高史
7日 (盛岡市民文化小) 「寺田悦子P&渡邊規久雄P」
15日 (一関文化中) 「田島葉月S・鈴木秀和T・木米真理恵Pによるジョイント・リサイタル」
16日 (前沢ふれあい) 「Quatuor B sax四重奏コンサート」Quatuor B [S-sax國末貞仁 A-sax山浦雅也 T-sax有村純親 Br-sax小山弦太郎]
16日 (盛岡市民文化) 「清塚信也Pリサイタル」
16日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ小) 「須川展也saxリサイタル」P小柳美奈子
17日 (一関文化) 「山形響『ドラゴンクエストの世界』」@永峰大輔
23日 (盛岡市民文化小) 「郷古藤vn&ホセ・ガヤルドP」
29日 (盛岡市民文化) 「ユナイテッド・ユーロ プラス・クインテット」tpラインホルト・フリードリッヒ, イェルン・ペルワルト hrラッセ・マウリツェン tbイアン・バウスフィールド tuトーマス・ロイスランド

12月

1日 (岩手県民中) 「加古隆Pリサイタル」vn相川麻里子 va南かおり vc植木昭雄 朗読:加古臨王
1日 (花巻市文化) 「福井敬トリサイタル」S高橋広奈 P齊藤亜都沙 イーハートヴ子ども合唱隊 市内高校生 花巻第九の会 テラ・ムジコ
6日 (トーサイクラシック岩手<岩手県民中>) 「歌芝居『セロ弾きのゴーシュ』」fl村野井友菜 vc三浦洋子 作曲・P長谷川恭一 原作:宮沢賢治 脚本:上田次郎 演出:おおしまこ 出演:佐藤恵津子, 谷藤ひろ美, 山根日和 他
7日 (北上市文化交流さくら小) 「菅家奈津子Msコンサート」P御園生隆

7日 (釜石市民 TETTO A) 「フィルハーモニー・ob・カルテット with 佐渡裕ナレーター:」obクリストフ・クレトマン flレイス・ワイリッ・コエッホ vaワルター・ケスナー vcケメンズ・ヴァンデル
8日 (岩手県民中) 「小山美穂恵Pリサイタル」
14日 (岩手県民中) 「小井土文哉Pリサイタル」
14日 (盛岡市民文化) 「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト コンサートツアー」P佐藤亜紀
14日 (北上市文化交流さくらfeat.ツガワ中) 「ローナ・マギーflリサイタル」P石橋尚子
15日 (一関文化) 「第15回いちのせき第九演奏会」@角田鋼亮 S清水智子 A松岡久美子 T鏡貫之 Bs金子宏 Orch仙台フィル Chorいちのせき第九合唱団
21日 (盛岡市民文化小) 「洪澤久美orgリサイタル」

1月

6日 (戦災復興記念館 記念) 「虹色のシンフォニー オムニバスコンサート」vn木谷承太郎, 佐藤由絃, 渡邊野 vc増田小夏 P瀬尾衣織, 小野寺志織, 黒川和奏, スロラクリリアナ, 菅原菜月, 若生理央, 田村優香南, 柴崎茉莉香
9日 (電力) 「第39回 藤崎ニューイヤーコンサート2024」@太田弦 仙台フィル
10日 (カワイ仙台コンサートサロン 「ヴェルデ」) 「JJ ジュン・リ・パイPリサイタル」
14日 (日立システムズ仙台シアター) 「仙台フィルコラボレーションシリーズ オーケストラとバレエの世界」@末廣誠 仙台フィル バレエ:ハイパーウィンド仙台
20日 (仙台中央音楽IVy) 「吉田勇雅P×藤沢和花P Duo」
21日 (中新田パッサ) 「パッサホール管弦楽団 ニューイヤーコンサート 2024」音楽監督・@金澤茂 @工藤昭裕 コンサートマスター:宮崎博
23日 (トクネット仙台) 「ウィーン MARO アンサンブル 2024」vn篠崎史紀, 倉富亮太 cb稻川永示 fl梶川真歩 cl松本健司, 浦畑尚吾 hr今井仁志他
26日 (日立システムズ仙台コンサート) 「仙台フィル第369回定期」@梅田俊明 vnスヴェトリン・ルセフ
27日 (日立システムズ仙台コンサート) 「仙台フィル第369回定期」26日と同じ
27日 (仙台中央音楽IVy) 「渡邊智道Pリサイタル」
28日 (日立システムズ仙台コンサート) 「紀平凱成Pリサイタル」
28日 (名取市文化中) 「小野綾子Sリサイタル」朗読:上島奈津子 Bvnクリストフ・ドルドフ, 小池まどか rec桐畑奈央, 矢板由希子 gmb田中孝子 cem上羽剛史
31日 (東京エレクトロン宮城) 「角野準斗Pリサイタル」

2月

3日 (東京エレクトロン宮城) 「辻井伸行Pオルフェウス室内管弦楽団」
3日 (日立システムズ仙台コンサート) 「新進演奏家育成プロジェクト オーケストラ・シリーズ 第75回 仙台」@鈴木織衛 仙台フィル tb吉江賢太郎 Br亀山泰地 S大塩麻乃 P中村このみ vn富田悠介
8日 (宮城野区文化パトナ) 「Music from PaToNa Vol.38 ふくらむ」ob西沢澄博, 高橋鐘汰 clダビット・ヤジンスキー, 鈴木雄大 fg西口真央, 水野一英 hr柳谷信, 藤田麻理絵, 田中みどり vc三宅進 cb助川龍語り:六華亭遊花
10日 (七ヶ浜国際村) 「仙台フィル演奏会」@神成大輝 tb紺野駿人
10日 (Pサロン・ルフラン) 「飯川直美vn&石丸友貴P」
10日 (日立システムズ仙台コンサート) 「オーケストラ・ドウ・センダイ 第20回記念定期」@水戸博之 vn西本幸弘 vc岡岡知広
11日 (気仙沼市民) 「宮城県地方音楽会 in けせんぬま」
16日 (宮城野区文化パトナ) 「早坂有里P&降旗貴雄vn」
16日 (日立システムズ仙台コンサート) 「仙台フィル第370回定期」@高関健 vn中野りな
17日 (日立システムズ仙台コンサート) 「仙台フィル第370回定期」16日と同じ
17日 (宮城野区文化パトナ)

響きを生む場所へ

演奏者のためのホール

【広告の入稿サイズ】

自由

【入稿データの種類】

PDFデータ

【広告の掲載サイズ】

1頁・・・A4サイズ（タテ）

1/2頁・・・A5サイズ（ヨコ）

〇〇〇〇ホール

〒000-000

東京都千代田区神田●●●

Tel: 000-000-000

[http: xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx](http://xxxxxxxxxxxxxxxxxx)



**AUTUMN
OPEN
CAMPUS**

\$20XX

00/000祝

00:00~00:00 受付開始/00:00~

〔○○○キャンパスにて開催〕

開催プログラム

個別入試相談会

A grid of 80 circles arranged in 4 rows and 20 columns, intended for a dot plot.



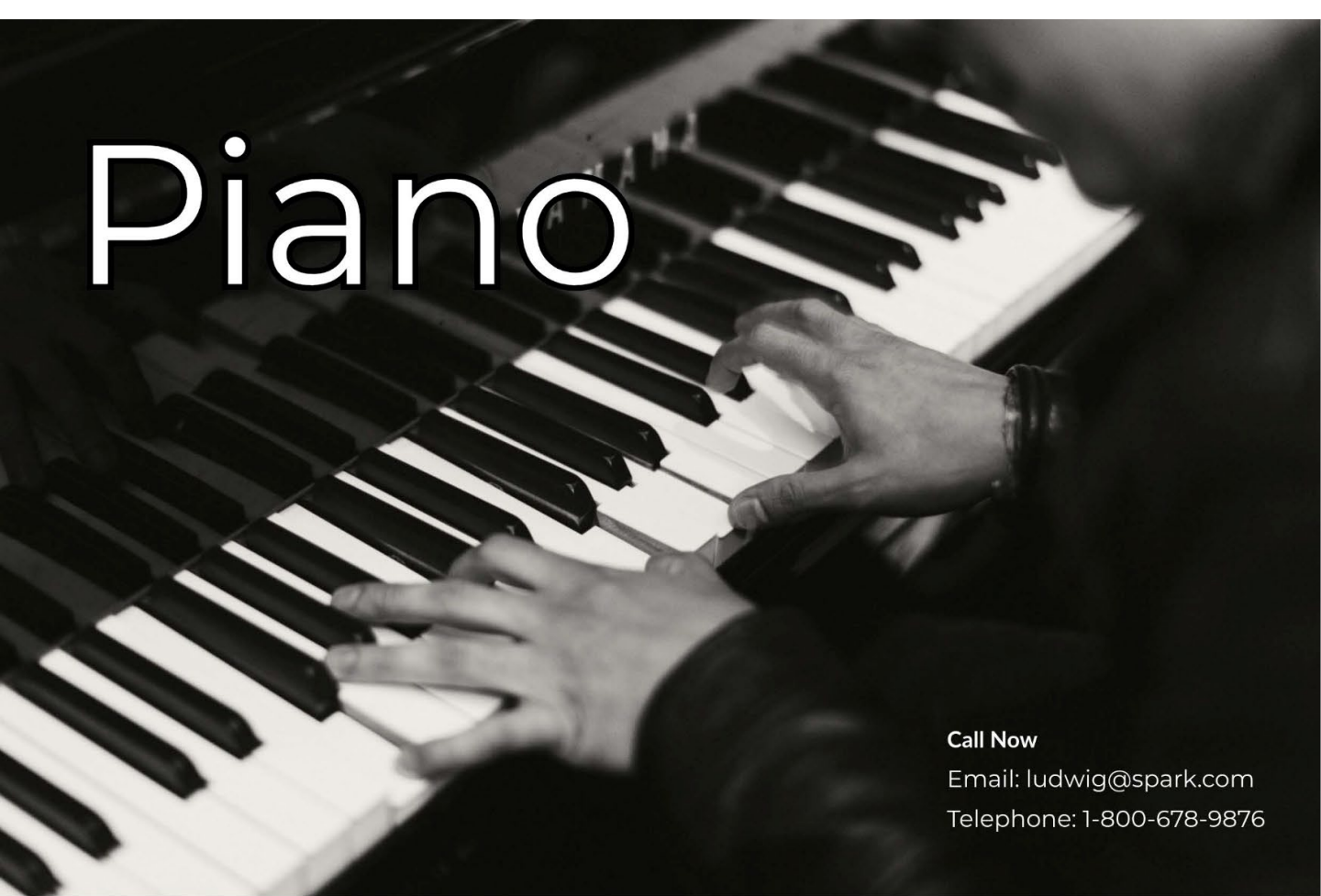
○○大学

[〇〇学部]〇〇学科、〇〇学科、〇〇学科 [〇〇学部]〇〇学科、〇〇学科
[所在地]〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇1-23-4 〇〇〇〇ビル 5F
[問合せ先]TEL 00-0000-0000 / MAIL info@example.com



音楽の記録を、
美しく残す。

●●株式会社



Piano

Call Now

Email: ludwig@spark.com

Telephone: 1-800-678-9876



Music Begins Here.

実技トレーニングを軸に、プロ演奏家・作曲家・教育者・音響スタッフなど
多様なキャリアを想定したカリキュラムを整備。

国内外の演奏家による特別レッスンも定期開催しています。

光音（こうおん）音楽大学 | Kouon College of Music

〒234-0081 東京都調和市みらい台 3-15-2

Tel: 03-6789-2245

Mail: info@kouon-music.ac.jp